

当座勘定規定書 新旧対照表

No	規程番号	要領名	帳票コード	帳票名	用法等	改正後	改正前	改正理由
1	010130100	当座預金事務取扱要領	KR-27790	当座勘定規定書	当座勘定規定	<p>第7条（手形、小切手の支払い）</p> <p>(1) 小切手が支払いのため呈示された場合、または手形が呈示期間内に支払いのため呈示された場合には、当座勘定から支払います。</p> <p>(2) <u>前項の支払にあたっては、手形または小切手の振出しの事実の有無等を確認すること（その旨について書面の交付を求めることを含みます）があります。</u></p> <p>(3) 当座勘定の払戻しの場合には、小切手を使用してください。</p>	<p>第7条（手形、小切手の支払い）</p> <p>(1) 小切手が支払いのため呈示された場合、または手形が呈示期間内に支払いのため呈示された場合には、当座勘定から支払います。</p> <p>(2) 当座勘定の払戻しの場合には、小切手を使用してください。</p>	電子交換所への移行にともなう改正
2	010130100	当座預金事務取扱要領	KR-27790	当座勘定規定書	当座勘定規定	<p>第8条（手形、小切手用紙）</p> <p>(1) 当金庫を支払人とする小切手または当店を支払場所とする約束手形を振出す場合には、当金庫が交付した用紙を使用してください。</p> <p>(2) 当店を支払場所とする為替手形を引受ける場合には、預金業務を営む金融機関の交付した手形用紙であることを確認してください。</p> <p>(3) 前2項以外の手形または小切手については、当金庫はその支払いをしません。</p> <p>(4) <u>当座勘定から支払をした手形または小切手のうちに、本人が振出したものではないものや改ざんが疑われるものがあつた場合には、直ちに当金庫宛に連絡してください。</u></p> <p>(5) <u>手形用紙、小切手用紙の請求があつた場合には、必要と認められる枚数を実費で交付します。</u></p> <p>(6) <u>当座勘定から支払をした手形または小切手の用紙はその支払日から3か月を経過した場合は返却を求めることができないものとします。</u></p> <p>(7) <u>前項の期間を経過した場合において、本人から請求があつたときは、当金庫所定の手続きによって当該手形または小切手の写しを交付します。ただし、当金庫が定める写しの保管期限を経過した場合は、その限りではありません。</u></p>	<p>第8条（手形、小切手用紙）</p> <p>(1) 当金庫を支払人とする小切手または当店を支払場所とする約束手形を振出す場合には、当金庫が交付した用紙を使用してください。</p> <p>(2) 当店を支払場所とする為替手形を引受ける場合には、預金業務を営む金融機関の交付した手形用紙であることを確認してください。</p> <p>(3) 前2項以外の手形または小切手については、当金庫はその支払いをしません。</p> <p>(4) 手形用紙、小切手用紙の請求があつた場合には、必要と認められる枚数を実費で交付します。</p>	電子交換所への移行にともなう改正

当座勘定規定書 新旧対照表

No	規程番号	要領名	帳票コード	帳票名	用法等	改正後	改正前	改正理由
3	010130100	当座預金事務取扱要領	KR-27790	当座勘定規定書	当座勘定規定	<p>第16条（印鑑照合等）</p> <p>(1) 手形、小切手または諸届書類に使用された印影または署名（電磁的記録により当金庫に画像として送信されるものを含みます）を、届出の印鑑（または署名鑑）と相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて取扱いましたうえは、その手形、小切手、諸届書類につき、偽造、変造その他の事故があつても、そのために生じた損害については、当金庫は責任を負いません。</p> <p>(2) 手形、小切手として使用された用紙（電磁的記録により当金庫に画像として送信されるものを含みます）を、相当の注意をもって第8条の交付用紙であると認めて取扱いましたうえは、その用紙につき模造、変造、流用があつても、そのために生じた損害については、前項と同様とします。</p> <p>（以下略）</p>	<p>第16条（印鑑照合等）</p> <p>(1) 手形、小切手または諸届書類に使用された印影または署名を、届出の印鑑（または署名鑑）と相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて取扱いましたうえは、その手形、小切手、諸届書類につき、偽造、変造その他の事故があつても、そのために生じた損害については、当金庫は責任を負いません。</p> <p>(2) 手形、小切手として使用された用紙を、相当の注意をもって第8条の交付用紙であると認めて取扱いましたうえは、その用紙につき模造、変造、流用があつても、そのために生じた損害については、前項と同様とします。</p> <p>（以下略）</p>	電子交換所への移行にともなう改正
4	010130100	当座預金事務取扱要領	KR-27790	当座勘定規定書	当座勘定規定	<p>（削除）</p>	<p>第28条（個人情報センターへの登録）</p> <p>個人取引の場合において、下記第1号の事由が生じたときは、その事実を銀行協会の運営する個人情報センター、株式会社シー・アイ・シーおよび株式会社日本信用情報機構（以下「センター等」といいます。）の個人情報情報機関に5年を超えない期間、下記第2号または第3号のいずれかの事由が生じたときは、その事実を銀行協会の運営する個人情報センターに5年を超えない期間（ただし、下記第3号の事由の場合のみ6か月間）登録し、センター等の加盟会員は自己の取引上の判断のために利用できるものとします。</p> <p>① 差押、仮差押、支払停止、破産等信用欠如を理由として解約されたとき</p> <p>② 手形交換所の取引停止処分を受けたとき</p> <p>③ 手形交換所の不渡報告に掲載されたとき</p>	電子交換所への移行にともなう改正
5	010130100	当座預金事務取扱要領	KR-27790	当座勘定規定書	当座勘定規定	<p>第28条（成年後見人等の届出）</p> <p>第29条（保険事故発生時における預金者からの相殺）</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>（以下条文、条数を昇順修正）</p>	<p>第29条（成年後見人等の届出）</p> <p>第30条（保険事故発生時における預金者からの相殺）</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>	電子交換所への移行にともなう改正

当座勘定規定書 新旧対照表

No	規程番号	要領名	帳票コード	帳票名	用法等	改正後	改正前	改正理由
6	010130100	当座預金事務取扱要領	KR-27790	当座勘定規定書	約束手形用法	<p>4. (1)金額は所定の金額欄に記入してください。</p> <p>(2)金額をアラビア数字(算用数字、1、2、3…)で記入するときは、チェックライターを使用し、金額の頭には「¥」を、その終わりには「※」、「★」などの終止符号を印字するほか、3桁ごとに「,」を印字してください。なお、文字による複記はしないでください。</p> <p>(3)金額を文字で記入するときは、文字の間をつめ、下表の文字一覧のとおり改ざんしにくい文字を使用し、金額の頭には「金」を、その終りには「円」を記入してください。また、崩し字は使用せず、楷書で丁寧に記入してください。</p> <p>(4)金額欄には、第2項または第3項に掲げる事項以外の記入は一切行わないでください。特になつ印や金額の複記が金額欄に重なることがないようにしてください。</p>	<p>4. (1)金額は所定の金額欄に記入してください。</p> <p>(2)金額をアラビア数字(算用数字、1、2、3…)で記入するときは、チェックライターを使用し、金額の頭には「¥」を、その終りには※、★などの終止符号を印字してください。なお、文字による複記はしないでください。</p> <p>(3)金額を文字で記入するときは、文字の間をつめ、壹、弍、參、拾など改ざんしにくい文字を使用し、金額の頭には「金」を、その終りには「円」を記入してください。</p>	電子交換所への移行にともなう改正
7	010130100	当座預金事務取扱要領	KR-27790	当座勘定規定書	約束手形用法	<p>5. 金額を誤記されたときは、訂正しないで新しい手形用紙を使用してください。金額以外の記載事項を訂正するときは、訂正箇所にお届け印をなつ印してください。ただし、訂正の記載やなつ印が、金額欄、銀行名に重なることがないようにしてください。</p>	<p>5. 金額を誤記されたときは、訂正しないで新しい手形用紙を使用してください。金額以外の記載事項を訂正するときは、訂正箇所にお届け印をなつ印してください。</p>	電子交換所への移行にともなう改正
8	010130100	当座預金事務取扱要領	KR-27790	当座勘定規定書	約束手形用法	<p>●金額を文字で記入する場合に使用する文字一覧 ～表省略～</p> <p>〈その他〉金、円、圓(円の異体字)、億 ※お取扱い上の誤り防止等のため、上表以外の異体字、崩し字のご使用はお控えください。</p>	(追加)	電子交換所への移行にともなう改正
9	010130100	当座預金事務取扱要領	KR-27790	当座勘定規定書	約束手形用法	<p>(券面画像の差し替え) ～画像省略～</p>		電子交換所への移行にともなう改正

当座勘定規定書 新旧対照表

No	規程番号	要領名	帳票コード	帳票名	用法等	改正後	改正前	改正理由
10	010130100	当座預金事務取扱要領	KR-27790	当座勘定規定書	小切手用法	<p>4. (1)金額は所定の金額欄に記入してください。</p> <p>(2)金額をアラビア数字(算用数字、1、2、3…)で記入するときは、チェックライターを使用し、金額の頭には「¥」を、その終わりには「※」、「★」などの終止符号を印字するほか、3桁ごとに「,」を印字してください。なお、文字による複記はしないでください。</p> <p>(3)金額を文字で記入するときは、文字の間をつめ、下表の文字一覧のとおり改ざんしにくい文字を使用し、金額の頭には「金」を、その終りには「円」を記入してください。また、崩し字は使用せず、楷書で丁寧に記入してください。</p> <p>(4)金額欄には、第2項または第3項に掲げる事項以外の記入は一切行わないでください。特になつ印や金額の複記が金額欄に重なることがないようにしてください。</p>	<p>4. (1)金額は所定の金額欄に記入してください。</p> <p>(2)金額をアラビア数字(算用数字、1、2、3…)で記入するときは、チェックライターを使用し、金額の頭には「¥」を、その終りには※、★などの終止符号を印字してください。なお、文字による複記はしないでください。</p> <p>(3)金額を文字で記入するときは、文字の間をつめ、ち、弍、参、拾など改ざんしにくい文字を使用し、金額の頭には「金」を、その終りには「円」を記入してください。</p>	電子交換所への移行にともなう改正
11	010130100	当座預金事務取扱要領	KR-27790	当座勘定規定書	小切手用法	<p>5. 金額を誤記されたときは、訂正しないで新しい小切手用紙を使用してください。金額以外の記載事項を訂正するときは、訂正箇所にお届け印をなつ印してください。ただし、訂正の記載やなつ印が、金額欄、銀行名に重なることがないようにしてください。</p>	<p>5. 金額を誤記されたときは、訂正しないで新しい小切手用紙を使用してください。金額以外の記載事項を訂正するときは、訂正箇所にお届け印をなつ印してください。</p>	電子交換所への移行にともなう改正
12	010130100	当座預金事務取扱要領	KR-27790	当座勘定規定書	小切手用法	<p>●金額を文字で記入する場合に使用する文字一覧 ～表省略～</p> <p>〈その他〉 金、円、圓(円の異体字)、億 ※お取扱い上の誤り防止等のため、上表以外の異体字、崩し字のご使用はお控えください。</p>	(追加)	電子交換所への移行にともなう改正